

埼臨技 だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7

TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>

携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

平成27年度 第2回検査室運営研修会

「自走」できる部下の育て方

— 外資系企業に聞く人財育成における管理職の役割 —

2月18日(木)に大宮ソニックシティ604号室において、平成27年度第2回検査室運営研修会が開催されました。今回は、管理者および各検査室を実際に動かしている主任クラスの皆さまに参加していただきたく、今回の研修会を企画しました。

講師には、株式会社ロシュ・ダイアグノスティックス 人事総務部門 部門長の高崎洋一先生をお招きしました。さて今回のテーマの「自走」とは、なんでしょう？それは、自分で判断し、自分で行動することで、上司がいかにして「自走」を引き出すか、が必要になります。

講演では、「自走」を引き出すために、部下との会話を構造的に行う・それぞれへの指導方法を意識して行う・気持ちに配慮した話し方を心がけることと事例等を交えて進んでいきました。まず上司の会話術としてのGROWモデルは、理想(GOAL)のために、現状(REALITY)、解決手段(RESOURCE)、選択肢(OPTION)、意思(WILL)など自分で課題に向かい合い、解決策を考え、試してダメなら修正して、最後に解決までもっていくようになることで「自走」につながる、とのことでした。次に部下への指導方法として、知識・経験のない部下は、細かく、具体的に指示する「ティーチング」、ある程度知識・経験のある部下には、答えを言わないで考え行動させる「コーチング」など意識して行い、今



できること以上のことを求めて「自走」する部下を作る、とのことでした。最後に、部下の気持ちに配慮した話し方を心がけることとして、実際に会場の方に参加してもらい、会話をしながら正面からと横からだんだん近づいて安心できる距離感と、椅子に座っている場合の視線の高さによる安心感を体感してもらいました。また気持ちに配慮した話し方として、自分の言いたいことを言うのではなく、相手の言動が変わってくれることで「自走」につなげる、とのことでした。どの施設においても人材育成は、重要な課題だと思えますが、育成できない理由を「今どきの新人職員」、「育成できない先輩や上司」だけで捉えているだけでは、問題解決になりません。これらのことをふまえて、今後いかに部下の「自走」を引き出すかがこれからの人材育成のカギになるかと思われます。今回「人材育成」が、「人財育成」になっています。人財とは、主体的に自分で考えて行動し将来を担う「財産」となる人のことです。今回の研修会には、会員66名、賛助会員3名の参加がありました。参加していただいた皆様においては、学んだことを今後の仕事に役立てていただけたらと思えます。

(文責：手塚康晴)

第45回 埼玉県医学検査学会情報



1 ログマーク作成にあたり

運営部 小水 大輔

本学会は「挑戦 — 未来の私達のために —」をテーマとし、学会カラーは学会長の意向により青色に決定しました。学会カラーとは、学会のシンボルカラーであり、埼臨技会誌の帯の色などに使用されます。「挑戦」と「青」から、私の頭に浮かんできたのは、波のイメージでした。穏やかな波ではなく荒波のイメージです。刻々と変化する社会の中で、私達臨床検査技師もまた、変遷の時を迎えています。一人一人が力を合わせ、押し寄せる様々な荒波を乗り越えていこうというメッセージを込め、このロゴマークを作成しました。

より良い学会を目指し、実行委員一同一丸となって挑戦していきます。皆様のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

まずは出来ること（学会）から挑戦してみませんか？未来の私達のために。

2 一般演題の募集について

学術部 渋谷 賢一

平成28年4月1日より、一般演題の募集を開始いたします。今月号では、申し込み方法についてお知らせします。たくさんのご応募をお待ちしております。

【概要】

1. 演題申し込み資格

- 1) 発表者は、平成28年度の技師会費を納入した方（以下、会員）に限ります。
- 2) 共同発表者は、原則会員とし7名以内です。
- 3) 非会員の共同発表者がいる場合は、学会事務局にご連絡ください。
※なお、学生の発表については上記資格を問いません。

2. 演題、抄録原稿の申し込み方法

- 1) 日臨技総合情報システム (JAMTIS) で受付をします。(注：日臨技パスワードを使用します)
※第45回埼玉県医学検査学会ホームページからJAMTISにリンクできます。
- 2) 学生の方、コマーシャル演題は演題申込書、抄録原稿ファイルを第45回埼玉県医学検査学会ホームページからダウンロードし、電子メールで受付します。

3. 抄録の作成要領

- 1) 日臨技総合情報システム (JAMTIS) を利用したWebによる抄録登録をしてください。
(注：日臨技パスワードを使用します)
- 2) 学生の方、コマーシャル演題は、第45回埼玉県医学検査学会ホームページからダウンロードしたファイルにMicrosoft Wordを使用して抄録を作成してください。
- 3) 一般演題・学生演題の本文は26文字×18行×2段=936文字以内です。

4. 原稿受領等の通知について

「受領メール」は、演題・抄録登録（変更）時に自動送信されます。受領メールが届かない場

合はメールアドレス・登録手順を確認してください。数日経過しても届かない場合は、お早めに第45回埼玉県医学検査学会事務局へお問い合わせください。また、学生演題の「受領メール」は演題・抄録受付後、数日中にメールアドレス宛てに送信いたします。

5. 演題・抄録

受付開始日：平成28年4月1日（金）

演題締切日：平成28年7月15日（金）

抄録締切日：平成28年8月15日（月）

※演題・抄録の締切日の延長は、原則として行いません。

6. 発表形式

パソコンを使用した口演形式で行います。

レイアウトずれを防ぐため、パワーポイントのスライドサイズ指定は「35mmスライド」に設定してください。

<動画使用の注意>

コーデックはMPEG1、MPEG2、MPEG4/AVC(H.264)、DivX、WMVをご使用ください。解像度は720×480ピクセル程度とし、デジタルハイビジョンやフルハイビジョンは避けてください。動画再生が不安な場合は複数の形式をご使用ください。

7. 発表スライドの送付

詳細については後日ご案内いたします。

8. 申し込み演題の採否

1) 採否については実行委員会に一任願います。

2) 「採否および日時・会場」は、後日電子メールもしくはハガキにて通知いたします。

9. 問い合わせ先（第45回埼玉県医学検査学会事務局）

〒349-1105 埼玉県久喜市小右衛門714-6

埼玉県済生会栗橋病院

第45回埼玉県医学検査学会 実行委員長 猪浦 一人 宛

TEL：0480-52-3611（内線：86320）

E-mail：kensa@saikuri.org

【演題の申し込み方法の注意点 ★締め切り：7月15日(金)★】

1) 発表者及び共同発表者は会員であることが原則です。

受付には日臨技パスワードが必要です

2) JAMTIS登録後に受付メールを必ず確認してください。

3) 非会員の共同発表者がいる場合、共同発表者が7名を超える場合は、事前に学会事務局に相談してください。

4) 学生、CM演題では事務局へ直接申し込んでください。

お詫びと訂正

実行委員長 猪浦 一人

前号に掲載した市民公開講演の演者である朝田先生のご紹介に誤りがありました。

正しくは筑波大学名誉教授 朝田 隆 先生です。お詫びをし、訂正させていただきます。

各研究班の研修会報告を致します。

テーマ 睡眠ポリグラフ検査(PSG)の重要性とその意義

主催 生理検査研究班

実施日時：平成27年11月14日 13時00分～18時00分

会 場：越谷サンシティホール 視聴覚室 点数：専門教科ー20点

講 演 1：患者さんが安心できる検査説明について

講 師：奥住 裕二（獨協医科大学越谷病院）

講 演 2：PSG波形説明とCPAP治療について

講 師：宮崎 純（フクダライフテック関東株式会社）

講 演 3：最近のSAS検査から治療まで

講 師：玉岡 明洋（東京医科歯科大学医学部附属病院

呼吸器内科准教授 快眠センター副センター長）

参加人数：会員80名

出席した研究班班員：野本隆之 仲野浩 瀧沢義教 高梨淳子 田名見里恵

研修内容・感想など

今回の生理検査研究班研修会は、越谷サンシティホールにて睡眠ポリグラフ検査(PSG)の重要性とその意義をメインテーマとし開催した。講演はPSG検査に詳しい臨床検査技師と医師にお願いした。

講演1は奥住技師に、患者さんが安心できる検査説明について講演していただいた。まずは、獨協医科大学越谷病院におけるPSG検査の現状報告とPSG検査マニュアルの紹介があった。PSG検査マニュアルは、写真が多くわかりやすいと思った。2015年7月からは、臨床検査技師による患者へのPSGの検査説明を開始している。主治医によるPSGの検査説明を行っていた時は、説明不足による患者とのトラブルもあった。しかし、臨床検査技師が検査説明を行うようになってからは、患者とのトラブルが減少したとの話であった。患者は検査を予約した当日に生理機能検査室に寄り、PSGの検査説明を受けている。PSGの検査説明は、検査目的、注意事項、検査当日の流れやセンサー類の取り付けなどについて、資料・写真を見ながら行っていた。また、検査当日にも再度検査の説明を行っていた。技師はPSG検査終了後テープを剥がす際に皮膚剥離の可能性や機器トラブルによる検査のやり直しの可能性についても説明していた。皮膚剥離対策としては、セキュラ・ノンアルコール被膜スプレーを用いていた。講演の最後には質問を受け、引き続き講演参加者施設での問題点などについてディスカッションする時間を設けた。

講演2は宮崎氏に、PSG波形説明とCPAP治療について講演していただいた。講演ではPSG解析手順をStageごとに詳しく説明していただいた。覚醒反応、呼吸イベント、睡眠時周期性四肢運動およびSpO2降下数についての話があった。解析初心者には解析ポイントがわかり、また解析を行っている参加者には復習になったと思う。最後にはCPAP治療の話があった。

講演3は玉岡医師に、最近のSAS検査・治療について講演していただいた。まずは検査の進歩として簡易診断器の紹介、測定原理や課題の話があった。次に先生からは治療の話があり、気道閉塞とCPAP療法の原理について図表を交えてわかりやすく講演していただいた。CPAPによる閉塞性睡眠時無呼吸症候群(OSAS)の予後の改善であるが、OSAS症例においてCPAP治療群には5年間の経過で死亡なく、無治療群と比較しCPAP治療群は明らかに予後が良いとの報告があった。

CPAPに代わる治療法はあるのか？ OSAS治療についての話があった。講演では新しい治療法、外科治療、口腔内装置(OA)の紹介があった。OAは重症のOSASも含めて有効である可能性、OAでもCPAPと同等の効果が期待できるようであり、症例提示や学会での発表報告があった。

最後には、OSASにおける医学部と歯学部との連携の話があった。

今回の講演会では、検査説明～検査～解析～治療の流れに沿って話を聞くことができ勉強になった。また今回の講演会では、ディスカッションの時間を多めに設けたことで、講演会参加者になかなか好評であった。

(文責：瀧沢義教)

テーマ 肝臓癌と腫瘍マーカーについて

主催 血清検査研究班

実施日時：平成28年 1月15日 19時00分～20時00分

会 場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科－20点

講 師：土田 貴彦（アボットジャパン株式会社）

参加人数：会員54名 賛助会員 3名 非会員 2名

出席した研究班班員：齊藤雅一 庄司和春 佐野悦子 大島まりこ 持田和紀 鈴木淳子

研修内容・感想など

今回の研修会では「肝臓癌と腫瘍マーカーについて」という演題で土田氏に講演していただいた。肝臓癌の原因から腫瘍マーカー測定で注意する点、PIVKA II 測定新試薬の紹介など幅広く説明していただいた。

肝臓癌マーカーは、AFP、PIVKA II、AFP-L3が日常的に使用されているが、AFPとPIVKA IIの感度は同等で、AFP-L3は感度は低いが高特異度が高い特徴がある。PIVKA IIとAFPは互いに有意な関連は認められていないので組み合わせで診断することにより診断効率は向上する。また、予後因子としてのマーカーとしても使用されており、AFPは治療後の肝発癌リスク予知因子、PIVKA IIは治療後の予後評価として使用されている。

PIVKA II 新試薬では、優れた結合性をもつ3C10抗体とPIVKA II 切断の影響を受けにくいMCA1-8抗体を使用することにより高い性能を示すことができている。採血管の影響は少なく、血清、血漿どちらでも測定できるようだが、抗生物質やワーファリン服用など偽陽性となる原因があることは注意する必要がある。

とても有意義な研修会であり、今後に役立てていきたいと思う。

(文責：鈴木淳子)

テーマ 輸血による溶血性副作用と血尿の鑑別

主催 輸血・一般検査研究班合同

実施日時：平成28年 1月22日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティーセンター 第15集会室 点数：専門教科－20点

講 演 1：輸血副作用と溶血の所見について

講 師：武関 雄二（自治医科大学附属さいたま医療センター）

講 演 2：一般検査における血尿の見方・考え方

講 師：深田 茂則（埼玉医科大学病院）

参加人数：会員100名 賛助会員 7名

出席した研究班班員：

輸血検査研究班：渡邊一儀 山田攻 佐藤祥子 神戸考裕 長谷川卓也 武関雄二 今井厚子

一般検査研究班：川音勝江 山本英俊 室谷明子 深田茂則 小関紀之 竹山梨枝子 槇島碧

研修内容・感想など

今回の研修会は輸血検査研究班と一般検査研究班との合同研修会であった。主題は輸血による溶血性副作用と血尿の鑑別とした。

講演1は輸血検査側として武関技師に輸血副作用と溶血所見について講演をしていただいた。内容は、輸血副作用には多様な原因と症状、対処法がある。なかでも溶血性副作用は重篤な副作用に関連する症状として、注意が必要である。溶血所見について注意すべき検査項目や、そ

れにつながる原因検索などを講演していただいた。

続いて講演2は一般検査側から深田技師に、一般検査における血尿の見方・考え方について講演していただいた。一概に尿潜血反応陽性といっても、血尿、ヘモグロビン尿、ミオグロビン尿と、その性状は多様であり、さらに赤血球形態からも分類をする必要がある。講演では血尿の分類において必要な検査と分類方法、注意点から、特に溶血に関連のあるヘモグロビン尿とミオグロビン尿の鑑別など、基礎的な部分から実践的な部分に関する内容だった。

今回、初めて輸血検査と一般検査での合同研修会が開催された。輸血溶血性副作用において血尿は非常に重要な所見になる。しかし全ての血尿がそれに当てはまるわけではない。一般検査、輸血検査に携わる技師が、双方の知識を深めていく必要性が感じられた。今後も研究班同士で合同研修会を実施することで、施設内でも部門間の連携強化につながり、協力し合うことで、より質の高い臨床支援とつながると考えられる。

(文責：渡邊一儀)

テーマ <<日臨技 認定心電図検査技師更新指定研修会>>

心電図における緊急連絡所見 — 検査室の認識と臨床医からの提言 —

主催 生理検査研究班

実施日時：平成28年 1月30日 14時30分～18時00分

会場：北里大学メディカルセンター AB会議室 点数：専門教科—20点

講演 1：心電図検査への最近の取り組み

講師：フクダ電子西関東株式会社

講演 2：検査室における心電図パニック値の考え方

講師：尾形 申式 技師（東京医科大学病院）

講演 3：突然死に関連する重要な心電図所見

講師：松本 万夫 医師（東松山医師会病院 病院長）

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科教授）

参加人数：会員84名 非会員1名（学生）

出席した研究班班員：野本隆之 田名見里恵 丸山陽介 仲野浩 関口知詠子 家城正和
瀧沢義教 高梨淳子 早川勇樹

研修内容・感想など

『心電図における緊急連絡所見 — 検査室の認識と臨床医から提言』のテーマで認定心電技師更新指定研修会を開催した。

講演1としてフクダ電子西関東販売株式会社に心電図検査への最近の取り組みを紹介していただいた。心電計への取り組みとしては、心臓突然死発生リスクの高いBrugada症候群、J波症候群、心室遅延電位(LP)等、心臓突然死パラメータへの対応を話された。Brugada症候群において特有のST上昇波形を記録するためには一肋間上にて胸部誘導を記録することは広く知られているが、高位肋間心電図を毎回記録することは実用的ではない。そのため12誘導心電図から高位肋間位置の波形を合成波形として作成できる機能や特発性心室細動に関連があるとされるJ波の検出機能を紹介していただいた。

講演2として尾形技師に心電図検査における緊急連絡所見について講演していただいた。施設で定めている心電図検査パニック値の紹介と、頻脈性不整脈や除脈性不整脈、急性冠症候群を示唆する心電図所見など、心電図所見とその臨床について解説していただいた。検査を行うにあたり症状を聴く重要性や報告後の体制についても紹介していただき検査室の基準や体制を再確認する良い機会となった。

講演3として松本医師に心臓突然死に関連する重要な心電図所見について講演していただいた。心臓突然死をきたす一つである心室頻拍であるが、一見、心室頻拍？と思われる実際の心電図波形の判読法を詳しく、わかりやすく解説していただいた。心臓突然死の基礎疾患は、6

～7割が心筋梗塞、心不全、心筋症等が主な原因であり、心筋梗塞や電解質異常、伝導障害には特に注意が必要であると説明されていた。突然死のリスク判断には既往歴や家族歴、心エコー所見、LP、圧受容体反射、運動負荷心電図、電気生理学的検査などの情報も有用であるといったリスク判断についても説明していただいた。

緊急対応すべき波形と普段なかなか聞くことのできない臨床現場での対応等、幅広く情報を得ることができた有意義な研修会であった。

(文責：家城正和、関口知詠子)

テーマ 線維系の特殊染色

主催 病理検査研究班

実施日時：平成28年 2月 5日 17時00分～21時00分

会 場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：基礎教科－20点

講 演 1：やってみよう！マッソン・トリクローム染色

講 師：三鍋 慎也（防衛医科大学校病院 検査部病理）

講 演 2：結合組織染色のオーダー・解釈のコツ ～これで モヤモヤ→スッキリ！ 2～

講 師：今田 浩生（獨協医科大学越谷病院 病理診断科 助教）

司 会：渡邊 俊宏（上尾中央医科グループ 上尾中央臨床検査研究所）

参加人数：会員65名 賛助会員1名

出席した研究班班員：渡邊俊宏 岡村卓哉 森田繁 荻真里子 金泉恵美子 三鍋慎也

細沼佑介 関口久男 高橋俊介 沼上秀博

研修内容・感想など

病理はHE標本を基本とし、必要な場合は特殊染色等による所見を踏まえて診断される。特殊染色の中でも線維系染色は、数種類の染色法や改良法があり、依頼頻度の高い染色法である。講演1ではマッソン・トリクローム染色に焦点を絞り、染色原理および、17施設の協力を頂いて施設間差を調査した内容を講演していただいた。マッソン・トリクローム染色は「線維素を青」、「細胞質を赤」に染め分けることを基本とするコントラストの鮮明な染色法である。この染色コンペでは染色結果を対比するほか、染色手順を比較することができ、染色に影響を及ぼすポイントを推測することができた。講演2では実際に診断される病理医の立場から、各種線維素の説明のほか、臓器別にみる膠原線維染色の見方を講演していただいた。用いられる線維染色法は色合いも含め、病理医の好みによるところもあるが、目的部分を明確に染め出すことが大事であることを強調された。

昨今では免疫組織化学染色が多用される時代となりつつあるが、特殊染色の有用性は今後も色あせることはない。「きれい、みやすい」標本を病理医に提供できるよう努力していきたい。

(文責：沼上秀博)

埼玉県技師会OB会入会のお誘い

埼臨技OB会は、定年退職された方や永く賛助会員として勤め上げた方で組織し、国内・海外旅行、懇親会、娯楽等を開催し親交を深めています。また、埼臨技学会参加等、埼臨技事業にも積極的に参加し、埼臨技との変わらない絆を大切にしています。

OB会の趣旨、活動に賛同し入会を希望する方は、下記記載のメールアドレスまたは電話で問い合わせいただきたくご案内申し上げます。

E-mail : sairingi-ob@sairingi.com

TEL : 048-824-4077

平成27年度
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会
第11回 理事会議事録

日 時：平成28年 2月10日（木）19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出 席：(理事)津田 神山 島村 岡田 矢作
小山 奈良 長岡 伊藤 猪浦
松岡 小島 濱本 藤井 長澤
神嶋 山口 武関

(監事)遠藤

本日の理事会の出席者は19名であった。理事の出席者は18名で、現在数20名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

Ⅰ. 行動報告 (平成28年1月7日～平成28年2月9日)

1月7日(木)平成27年度公益社団法人第10回理事会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、
小山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、
松岡、小島、濱本、藤井、長澤、
神嶋、山口、武関、野瀬、遠藤、
細谷

1月8日(金)平成28年賀詞交歓会ならびに各賞受賞記念祝賀会：

津田、神山、島村、岡田、矢作、
小山、奈良、猪浦、長岡、伊藤、
松岡、小島、濱本、藤井、長澤、
神嶋、山口、島山、武関、野瀬、
遠藤、細谷

1月9日(土)埼玉県看護協会新年のつどい：

津田

1月13日(水)平成27年度第1回役員推薦委員会：
神山、矢作、小山

1月13日(水)第2回総務部会議（メール）：

岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤

1月15日(金)第45回埼玉県医学検査学会第5回
実行委員会：

猪浦、長岡、長澤、武関

1月16・17日(土・日)検体採取等に関する厚労省

指定講習会実務委員：小山、山口

1月22日(金)日臨技全国幹事連絡会：神山

1月22日(金)日臨技賀詞交換会：岡田、神山

1月23日(土)日臨技臨時総会：

津田、神山、岡田

1月30・31日(土・日)検体採取等に関する厚労省
指定講習会実務委員：

藤井、島山、神嶋

1月30・31日(土・日)平成27年度検査説明・相談
ができる臨床検査技師育成講習会：
津田、岡田、奈良、猪浦、長岡、
伊藤

2月6日(土)埼玉県医師会新年会：

津田、島村、山口

2月6日(土)平成27年度関甲信・首都圏支部合
同人材育成研修会：神山

2月7日(日)一都八県会長会議：

津田、神山、岡田

2月7日(日)日臨技関甲信支部幹事会：

岡田、神山、津田

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

1) 埼玉県糖尿病協会より糖尿病週間の御礼状
が届いた。

2) 第7回埼玉輸血フォーラムの後援を行った。

3) 平成27年度(一社)日本公衆衛生協会会長表
彰に岩田敏弘氏(埼玉県立がんセンター)
の受賞が決定した。

表彰式は平成28年3月8日(火)14時から
大手町サンケイプラザにて挙行。

4) 平成27年度厚生労働大臣表彰に島村益広副
会長の受賞が決定した。

表彰式は平成28年3月8日(火)14時から
大手町サンケイプラザにて挙行。

5) 1月13日、平成27年度第1回役員推薦委員
会を開催した。

6) 各技師養成校卒業式への出席者を下記の通
り決定した。

・西武学園医学技術専門学校

(3月14日(月)13時より)：津田会長

・東武医学技術専門学校

(3月5日(土)13時より)：神山副会長

・埼玉県立大学

(3月15日(火)10時より)：岡田副会長

・埼玉医科大学

(3月12日(土)13時より)：松岡常務理事

・文京学院大学

(3月12日(土)10時より)：奈良常務理事

2 総務部

平成28年 2月 1日現在

- 1)「埼臨技だより」第441号、2月15日発行予定
- 2) 1月13日、第2回総務部会議（メール）を開催した。
- 3) 1月30・31日、平成27年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会を開催した。

会員数 2,588名
(新入会員 250名[平成26年度会員数2,441名])
賛助会員 78社[平成26年度 79社]

3 事業部

- 1)平成28年度のわらび健康まつりは10月23日開催予定。
- 2)宮島日臨技会長による日臨技情勢報告会を2月22日に開催する。

- 承認された
- 2) 関甲信・首都圏支部合同医学検査学会準備委員会について承認された。
 - 3)平成27年度臨時総会資格審査委員について承認された。

4 学術部

- 1)特になし

5 精度保証部

- 1)特になし

6 会計部

- 1)平成27年度正会員費11名分55,000円、入会金11名分11,000円、合計66,000円の入金があった。
- 2)日臨技臨時総会議決権行使書回収手数料2,113件×100円、211,300円の入金があった。
- 3)埼臨技だより第440号印刷代120,442円を石井印刷に支払った。
- 4)(有)グッテンに賞状フォルダー代金61,966円を支払った。

2 総務部

- 1)第45回埼玉県医学検査学会実行委員会への事務所倉庫の鍵の貸与について承認された。
- 2)第44回埼玉県医学検査学会決算報告について承認された。
- 3)第45回埼玉県医学検査学会実行委員の交代について承認された。
- 4)埼臨技・技師養成校連絡会議について

3 事業部

- 1)特になし

4 学術部

- 1)平成28・29年度研究班員推薦について承認された。
- 2)平成28年度研究班事業計画(案)について承認された。

5 精度保証部

- 1)特になし

6 会計部

- 1)平成28年賀詞交歓会ならびに各賞受賞記念祝賀会会計報告について承認された。

7 精度管理委員会

- 1)特になし

7 精度管理委員会

- 1)特になし

8 一都八県会長会議

- 1)2月7日、一都八県会長会議が開催された。

9 日臨技関甲信支部

- 1)2月6日、関甲信・首都圏支部合同人材育成研修会が開催された。
- 2)2月7日、支部幹事会が開催された。

10 日臨技

- 1)1月22日、日臨技全国幹事連絡会が開催された。
- 2)1月22日、日臨技賀詞交換会が開催された。
- 3)1月23日、日臨技臨時総会が開催された。

11 第44回埼玉県医学検査学会

- 1)1月15日、埼臨技事務所へ鍵の返却を行った。

12 第45回埼玉県医学検査学会

- 1)1月15日、第5回実行委員会を開催した。

IV. 議題

特になし

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

III. 承認事項**1 事務局**

- 1)会員動向(平成27年度分)

求人案内

- 医療法人 康麗会 越谷誠和病院
採用条件：正職員
連絡先：048-966-2711 総務課 高野
- 社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院
採用条件：正職員
連絡先：0480-40-1311
管理部総務課 四宮・永塚
- 医療法人 藤和会 藤間病院
採用条件：正職員
連絡先：048-522-0600 内線147
検査科 今井・加治
- 医療法人社団 和風会 所沢中央病院
採用条件：正職員
連絡先：04-2994-1265
事務長 服部 貢
- 医療法人社団 泰誠会 永井マザーズ ホスピタル
採用条件：正職員
連絡先：048-959-1311
医療連携室 室長 田沢
- 医療法人 大宮シティクリニック
採用条件：正職員 臨時職員（パート）
連絡先：048-645-1256 本部長 星野
- 埼玉東部循環器病院
採用条件：正職員
連絡先：048-960-7102 人事担当 田中
- 公益財団法人 埼玉県健康づくり事業団
採用条件：臨時職員（パート） その他（登録制）
連絡先：0493-81-6064 内線4150
事業部 野寺さとみ

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。

あ と が き

また今年もこのつらい季節がやってきました。花粉症です。我が家では家族全員が花粉症のため、この季節は十分な対策が欠かせません。学生時代の卒業式の日、花粉症がひどかったらしく、鼻水と涙を流している私を見て、周囲の人は「よほど感激している。」と思われていたようです。いつか特効薬が開発されることを願いながら、杉の木を避けている日々です。

また、年度末でもあり、4月の人事異動に向けて慌しい時期ともなります。異動が決まりましたら技師会の登録情報の変更も必要になりますので、早めにお手続きをお願いいたします。日臨技ホームページから簡単に変更できますので、ご利用ください。

(奈良 記)

